

【古民家みおやの里と御祖旧街道】

現在も宿場町らしい街並と風情を残す御祖旧街道。近くに古墳があることからわかるように歴史は古く、早くから交通の要衝でありました。加賀百万石十三代藩主・前田斉泰（なりやす）公の能登巡見の折にも、一行がこの街道を通ったという記述があります。街道沿いは鉄道が開通する頃まで商業で栄え、宿屋や休み処、日用品を売る店が軒を連ねており、能登各地や近隣の七尾・羽咋・氷見からも物資を求めた多くの人々で賑わったと言われています。このような背景の中で、古民家みおやの里や様々な歴史文化が育まれました。

住吉神社の鎌祭り

「鎌打ち神事」とも言われ、毎年8月27日に藤井の住吉神社で行われます。タブの神木に鎌の柄の部分打ち込み、五穀豊穡、無病息災を願う神事は、北陸地方では中能登町金丸の諏訪神社と七尾市日室町の諏訪神社を含め3社だけ。石川県指定無形民俗文化財に指定されています。



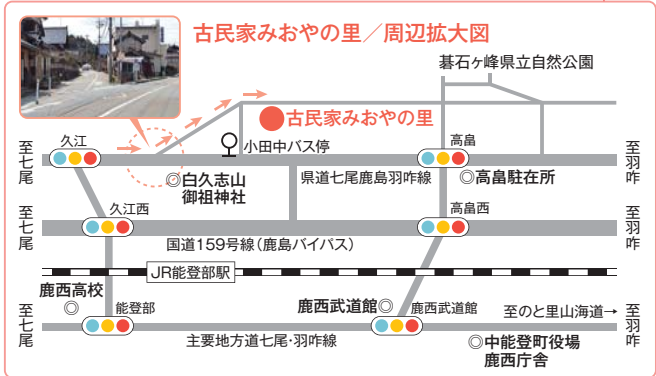
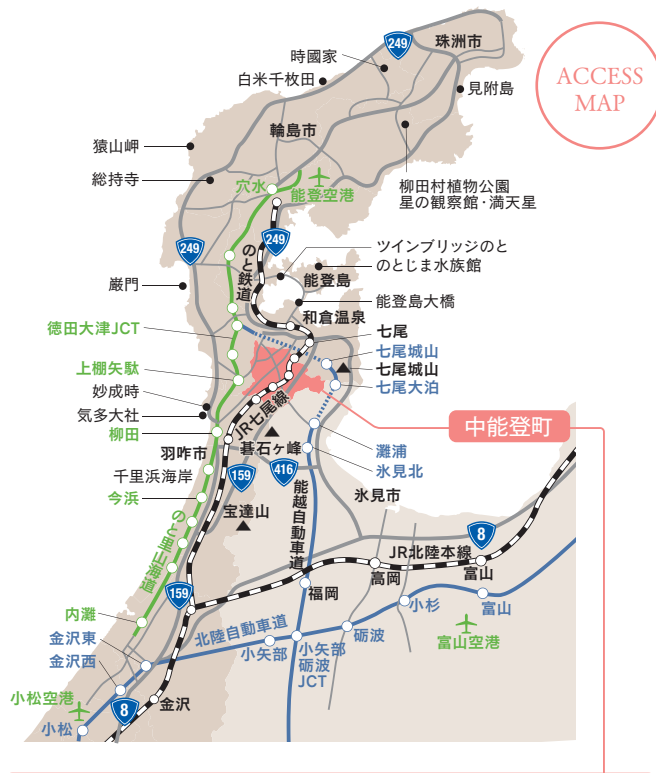
能登で唯一のちようちん店

高畠の亀井ちようちん店は、能登で唯一の職人による手作りちようちんの店。1900年（明治33年）頃に創業し、現在は3代目が能登ちようちんの伝統を護っています。この店もかつては「御祖村役場」として建てられた、歴史のある建物です。



小田中の親王塚古墳

古民家みおやの里の近くにある親王塚古墳は、北陸では最も古く最大級の古墳。埋葬者は能登の初期の王として君臨した有力者で、崇神天皇の皇子である大入杵命（おおいりのみこと）と言われています。ここから出土した「三角縁神獣鏡」は、邪馬台国の女王である卑弥呼が魏（中国）の王から賜った鏡と言われるもの。街道を挟んで親王塚古墳に相対するように位置する「亀塚古墳」は前方後円墳で、内部は未盗掘と言われています。



ご利用時間	使用料
9:30～13:00	2,000円
13:00～17:00	2,000円
17:00～22:00	2,500円
9:00～22:00	5,000円

※冷暖房料／1時間あたり200円

- ◇のと里山海道 柳田I.C.から……………車で約20分
- ◇JR能登部駅から……………タクシーで約8分
- ◇北鉄能登バス小田中バス停から……………徒歩1分

承認を受けた使用時間帯を超えて使用した場合の使用料は、1時間（1時間未満は1時間とする）につき該当時間帯の使用料に、25%プラスした料金になります。

利用される場合は事前の申し込みが必要です。

中能登町
ISHIKAWA NAKANOTOMACHI

申込先／中能登町企画課

〒929-1792 石川県鹿島郡中能登町末坂9部46番地
TEL 0767-74-2806 FAX 0767-74-1300

国登録有形文化財 古民家みおやの里

中能登町



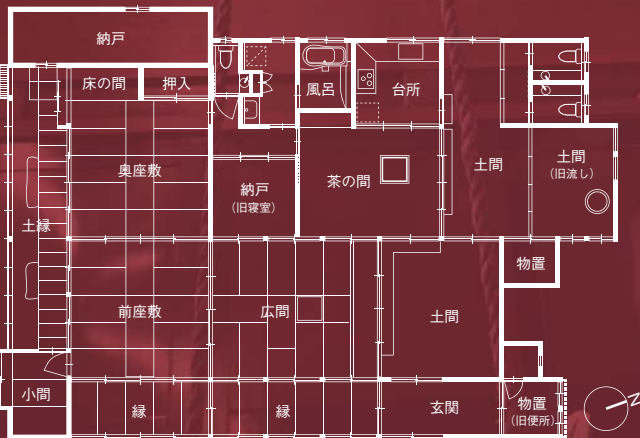
【概要】

古民家みおやの里は、明治42年に新築された建物。母屋は、明治以降の旧加賀藩地域における農家の特徴「東造り（あずまづくり）」といわれる建築様式を持っています。切妻造、妻入りで、屋根は機瓦葺き、大梁の間口は14.0m（7.5間）、桁行は8.2m（4.5間）、床面積は240㎡あります。母屋の間取りは、口能登型民家の特徴的な間取りで、土間に面して表に広間を取り、広間裏に勝手、寝間を並べ、上手に座敷を加えた形式です。特に勝手（茶の間・台所）が土間側に張出した特徴があります。

【構造】

柱は広間と土間境に標（けやき）材が使われ、その他は杉材が使われています。柱の表面は台鈍（かんな）で仕上げられ、座敷まわりと広間の一部は弁柄（べんがら）拭き漆（うるし）塗りとなっています。広間の中心となる柱は6寸（182ミリ）あり、その他は4～5寸（121から152ミリ）が使われています。梁（はり）は松材の丸太を使い、柱をつなぐ差門（ひらもん）は広間、茶の間の桁行方向に主に用いられ、材質は標（けやき）材が多く使われています。

【みおやの里/間取り】



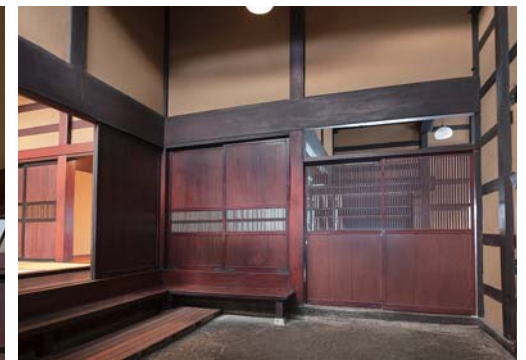
座敷

襖で仕切られた前座敷と奥座敷。奥座敷は床の間、付書院を備えたつくりになっています。



広間

玄関に入った最初の部屋となる広間。囲炉裏には自在鉤も吊るされており、昔日には炭火を囲んでの団樂を楽しんでいた様子が伝わってきます。



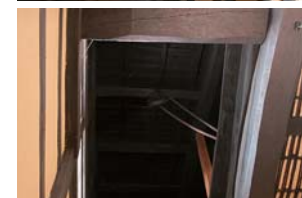
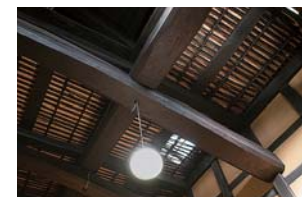
土間

玄関先や台所には広い土間があり、日々の生活には欠かせない作業場となっていました。



土縁

昔から雪の多い北陸地方を中心に用いられていました。奥座敷と庭を結ぶ 日だまり空間です。



あま

玄関に近い土間の上部屋根裏は「あま」と呼ばれ、床は竹で編まれています。入口から荷物を上げる滑車も備え付けられています。

茶の間

囲炉裏を囲んで一家団樂の日常空間だった茶の間。使い勝手を考え、現代的な台所も備え付けられています。

